

半世紀の交流の歴史を振り返り
今後の交流に思いを馳せた1年
でした

図書広報室 ☎32-2026

3月15日で、宮古島市との姉妹都市縁組50周年を迎えます。今年度は、記念式典や物産展、スタンプラリーなど、多数の記念事業を行い、これまで以上に交流が深まった1年になりました。50年後も「きっとつながっている」そんな、交流を今後も続けていきましょう。



津山市長 宮地昭範

宮古島市との姉妹都市縁組50周年を迎えますことを大変うれしく思っております。

わたしたちは、戦後、日本が新しい社会を作り出そうとしていた時代の中で、沖縄の本土復帰を願って結ばれました。それは、数ある本土のまちの中で、宮古島の校長先生が津山市を訪れたことがきっかけとなった、まさに一期一会の出会いでした。

半世紀の交流で、宮古島を訪れた津山の人の記憶には、透き通る海と、どこまでも続く大空が鮮明に残っていることと思います。人と人との交流なくして、まちの交流は語れません。今後も両市の絆がより一層深まりますことを期待しております。

3月15日で 姉妹都市縁組50周年

宮古島市長 下地敏彦

今から50年前、宮古島の平良第一小学校の砂川恵保校長先生の津山市訪問をきっかけとして結ばれた津山市と宮古島市は、今日まで変わらぬ情熱を持ち、さまざまな機会を捉え、交流を続けてまいりました。この間、沖縄の祖国復帰に関する決議を全国に先駆けて実施して頂き、感謝の念でいっぱいでした。そして平成27年3月15日で50周年という記念すべき日を迎えます。

この間、両市民の相互理解は確実に進み、それぞれの市制の発展に貢献しておりますことは誠にうれしい限りで、心から感謝申し上げます。海と山を越え1,400キロ離れた両市は、遠くても常に心が通い合い、ともに支え合う存在であります。今後も、より一層絆が深まることを期待しております。



今年度はいろいろな事業で、
交流が深まったね



宮古島市イメージキャラクター「みーや」



宮古島のキャラクター「みーや」が津山へ



宮古島の郷土料理を学校給食で体験



記念式典で堅い握手を交わす両市長



津山の味覚を宮古島でPR物産展 in 宮古島



50周年記念式典では市内小学生による「未来宣言」が行われました



ごんごまつりで宮古島市長や職員が、両市の交流や宮古島をPRし盛り上がりました



宮古島出身の砂川涼子さん出演第9回津山国際総合音楽祭

きらめく 津山人

写真家
柴田 れいこさん(大田)

戦後70年の節目にあたる今年、戦争で夫を亡くした女性をテーマとした写真展を開催する柴田れいこさんにお話を伺いました。

「写真」を始めたきっかけは？

わたしは「学生時代に何かやり残したことがあるのではないかな？」という気持ちでずっと持ちながら、家事や子育てをしてきました。そして、子育てが落ち着いたら頃、その思いが溢れてきて、行動せずにはいられなくなりました。元々好きだった写真を通して自分の世界を広げたい、そして自分の生き方を探していきたいと思い、52歳の時に大阪芸術大学写真学科に入学しました。

写真の魅力は何ですか？
写真は、その瞬間を留めて記録しておける魅力があります。
また、人物写真の場合、表情の中にその人の人生や生き方が表れてくることや、写し手であるわたしにしか見せない表情が写真に表れてくることに魅力を感じています。

この作品を通じて、20〜30代という若さで夫を亡くし、悲しみを胸に秘めながら子どもや夫の家のために、懸命に生きてきた女性たちがいるということを、見る人に伝えたいと思っています。

「女性」を作品のテーマにしているのはなぜですか？
わたしは、出産や育児を経験し、女性の力強さを感じてきました。写真を通して、さまざまな女性の生きる姿や力強さを記録していきたいと思っています。

また、戦争を経験した人が少なくなりつつある今、わたしはその人たちの記録を残さなければと感じていました。

そこで、平成24年から、県内に住む89歳〜102歳、54人の戦争で夫を亡くした女性たち取材し続け『届かぬ文(ふみ) 戦没者の妻たち』という作品としてまとめることができました。

中には、結婚してたった9日出兵していった夫の死が信じられず、40年間、帰りを待ち続けた女性もいます。彼女は、平成3年、新聞に掲載されたシベリア抑留者の死亡者名簿に夫の名前を見つけ、初めて夫の死を受け入れたと語ってくれました。



アトリエで写真展の準備を進める柴田さん

津山には、昔からあるれんが造りの建物や、美しいたたずまいを残す建物が多くあります。これらの建物が時代とともに姿を消しつつある中で、後世に伝えられるよう、記録を残せたら良いなと思っています。
また、これからも「女性」をテーマとした写真を撮り続けていきたいと思っています。時代を見つめ、社会を見つめて、女性のさまざまな生き方を写真の中で表現し、伝えていきたいです。

女性の力強さを記録し続けたい

